

平成 25 年度愛媛県食品衛生監視指導計画に基づく収去検査結果について(県行政検査)

食品化学科

不良食品の流通を防止し、県民の食の安全安心を確保するため、保健所において収去した県内で製造・販売されている食品等について当所で検査を実施した。分析結果の概要は次のとおりであった。

1 食品添加物(防かび剤)

県内で流通する輸入かんきつ10検体に含まれる防かび剤4項目について検査した。その結果、イマザリル及びチアベンダゾールが検出されたものがあったが、残留基準を超えるものはなかった。(表1)

輸入わりばし5検体に含まれる防かび剤4項目について検査した。その結果、検出されたものはなかった。

2 農産物等の残留農薬

県内産の農産物及び輸入冷凍野菜45検体について、延べ6942項目の農薬の分析を実施した。その結果、メチダチオン等6種類の農薬が検出されたが、残留基準を超えるものはなかった。(表2)

また、群馬県の事業所において製造された冷凍食品にマラチオン(有機リン系農薬)が混入された事件に伴い、県内においても混入が疑われる食品が流通していたことから、13検体に対してマラチオンの分析を実施した。その結果、検出されたものはなかった。

3 魚介類の有機スズ化合物及び動物用医薬品

県内産の養殖魚3検体、天然魚6検体について、TBT(トリブチルスズ化合物)、TPT(トリフェニルスズ化合物)の残留状況を調査した。その結果、許容濃度を超えるものはなかった。

また、養殖魚については併せてオキシリン酸の分析を実施したが、いずれも検出されなかった。(表3)

4 食肉中に残留する農薬及び合成抗菌剤

県内産食肉10検体及び輸入食肉10検体について、農薬(DDT、アルドリン及びディルドリン、ヘプタクロル)及び合成抗菌剤(スルファジミジン、スルファジメキシンの)の残留状況を調査したが、いずれも検出されなかった。

5 遺伝子組換え食品の実態調査

遺伝子組換え作物の使用実態を把握するため、豆腐の原料大豆25検体の検査を実施した。その結果、いずれの検体も遺伝子組換え大豆の混入率は5%未満であった。

6 菓子類に含まれるアレルギー物質(乳)のスクリーニング検査

県内で製造・販売された菓子類20検体について、特定原材料(乳)のスクリーニング検査を実施した。2キットによる検査を行った結果、原材料に「乳」を含む旨の食品表示がある菓子類を除き、混入が疑われるものはなかった。(表4)

7 食品等に含まれる放射性物質検査

県内で製造、販売されている食品167検体について、ゲルマニウム半導体検出器を用いてセシウム134及びセシウム137の検査を実施した。その結果、基準値を超えるものはなかった。(表5)

8 食品中の残留農薬等の試験法の妥当性評価

厚生労働省通知に基づき平成23年度から実施している妥当性評価について、今年度は、魚類、ほうれんそう等の葉緑素を多く含む野菜、ねぎなどアリウム属、種実類、キャベツ等の硫黄化合物を含む野菜及びその他の野菜の評価を実施した。(表6)

表1 輸入かんきつ等における防かび剤の試験結果

(単位：g/kg)

	イマザリル	チアベンダゾール	オルトフェニルフェノール	ジフェニル
オレンジ	0.0007	0.0003	検出せず	検出せず
オレンジ	0.0015	0.0013	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0006	0.0001	検出せず	検出せず
レモン	0.0009	検出せず	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0012	0.0011	検出せず	検出せず
オレンジ	0.0005	0.0016	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0010	0.0007	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0013	0.0006	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0018	検出せず	検出せず	検出せず
レモン	0.0025	検出せず	検出せず	検出せず
定量限界	0.0003	0.0001	0.0001	0.0003
基準値	0.0050	0.010	0.010	0.070

表2 農産物における検出農薬一覧

農産物名等	農薬名	検出量(ppm)	残留基準 (ppm)
輸入冷凍えだまめ	シペルメリン	0.40	5.0
輸入冷凍えだまめ	シハロトリン	0.05	1.0
輸入冷凍いんげん	シペルメリン	0.03	0.5
白菜	ペルメリン	0.20	5.0
いよかん	メチダチオン	0.10	5.0
いよかん	トルフェンピラド	0.05	3.0
ネーブル	メチダチオン	0.04	5.0
せとか	メチダチオン	0.20	5.0
せとか	クロルフェナピル	0.02	2.0
なつみかん(皮)	メチダチオン	0.04	5.0

表3 魚介類中の有機スズ化合物及び動物用医薬品試験結果

		TBT化合物(ppm)	TPT化合物(ppm)	オキシリン酸(ppm)
養殖	ハマチ	0.002	検出せず	検出せず
	タイ	0.005	検出せず	検出せず
	チヌ	0.002	0.005	検出せず
天然	スズキ	0.003	0.006	—
	タイ	0.044	0.015	—
	イラ	0.020	0.006	—
	エソ	0.003	0.016	—
	ムクダイ	0.003	0.008	—
	メゴチ	0.005	0.011	—
	定量限界	0.001	0.001	0.01

※ 許容濃度 TBT化合物:1.617ppm, TPT化合物:0.174ppm (体重50kgの場合、塩化物として)

表4 菓子類に含まれるアレルギー物質(乳)のスクリーニング検査結果

検体番号	結果(μg/g)		検体番号	結果(μg/g)	
	ELISAキット1	ELISAキット2		ELISAキット1	ELISAキット2
1	検出せず	検出せず	11	検出せず	検出せず
2	検出せず	検出せず	12	1.2	1.2
3	検出せず	検出せず	13	検出せず	検出せず
4	検出せず	検出せず	14	検出せず	検出せず
5	検出せず	検出せず	15	検出せず	検出せず
6	検出せず	検出せず	16	検出せず	検出せず
7	検出せず	検出せず	17	検出せず	検出せず
8	検出せず	検出せず	18	1960	1520
9	検出せず	検出せず	19	検出せず	検出せず
10	検出せず	検出せず	20	検出せず	検出せず

※1 10μg/g以上の場合には、微量を超える特定原材料が混入している可能性があるものと判断する

※2 検体番号18には「乳」を含む旨の食品表示あり

検出限界:0.31μg/g (2キット共)

表5 放射性セシウムの検査件数(行政検査)

区分	検査件数
飲料水	51
牛乳	65
乳児用食品	49
一般食品	2
合計	167

表6 食品の残留農薬等の試験法の妥当性評価の状況(平成25年度まで)

	食品の種類	評価に使用した食品	検査項目	適用項目数
平成24年度	果実	みかん	農薬	168
	ばれいしょ等デンプンの多い野菜	ばれいしょ	農薬	154
	穀類	玄米	農薬	162
	豆類	そらまめ	農薬	158
	食肉	豚肉	動物用医薬品	2
平成25年度	魚類	タイ	動物用医薬品	1
	ほうれんそう等の葉緑素を多く含む野菜	ほうれんそう	農薬	174
	魚類	ブリ	動物用医薬品	2
	ねぎなどアリウム属	ねぎ	農薬	126
	種実類	くり	農薬	184
	キャベツ等の硫黄化合物を含む野菜	キャベツ	農薬	171
	その他の野菜	しいたけ	農薬	178